

令和8年度 第2学年 理科 年間指導計画 予定年間授業時数： 140時間

使用教科書：教育出版「自然の探求 中学理科2」

使用副教材：正進社「理科の完全学習」 浜島書店「最新理科便覧」

教科の学習目標：

- (1) 自然の事物・現象に進んでかかわろうとする態度を養う。
- (2) 目的意識をもって観察・実験などを行い、科学的に探究する能力を育てる。
- (3) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

<学習内容>

学期	学習単元	学習内容
1	単元1 化学変化と原子・分子	<input type="checkbox"/> 物質の成り立ちについて学習する。 <input type="checkbox"/> 化学変化における化合と酸化と還元について学習する。 <input type="checkbox"/> 質量の保存則と質量変化の規則性について学習する。
	単元2 生物の体のつくりとはたらき	■細胞のつくりとはたらきについて学習する。
2	単元2 生物の体のつくりとはたらき	■植物の体のつくりとはたらきについて学習する。 ■生命を維持する働きについて学習する。 ■運動のしくみや感覚器官、神経のしくみについて学習する。
	単元3 電流とその利用	<input type="checkbox"/> 回路と電流、電圧、抵抗について学習する。 <input type="checkbox"/> 静電気と電子のはたらきについて学習する。
3	単元3 電流とその利用	<input type="checkbox"/> 電流と磁界、誘導電流、交流と直流について学習する。 <input type="checkbox"/> 静電気と電流について学習する。
	単元4 気象のしくみと天気の変化	■気象と私たちの生活、天気の変化について学習する。 ■大気中の水蒸気の変化について学習する。 ■高気圧、低気圧、気団、前線について学習する。 ■日本における大気の動きと四季の天気について学習する。 ■日本における大気の動きと四季の天気について学習する。 ■自然の恵みと気象災害について学習する。

評価の観点・方法

以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動をしっかりと評価します。

観点(全体に対する割合)	観点の趣旨	評価資料
観点1(35%) 知識・技能	化学変化と原子・分子、生物のからだとそのつくり、電流とその利用、気象とその変化に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	小テスト 実験時のプリント 定期テスト
観点2(35%) 思考・判断・表現	化学変化と原子・分子、生物のからだとそのつくり、電流とその利用、気象とその変化に関する事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	定期テスト 小テスト 実験時のプリント 授業時のプリントのまとめ
観点3(30%) 主体的に学習に取り組む態度	化学変化と原子・分子、生物のからだとそのつくり、電流とその利用、気象とその変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	授業態度 実験時の様子 小テスト 調べ学習 発展問題への取り組み 課題提出